

福祉援護センターの指定管理者の選考結果について

横須賀市立福祉援護センターかがみ田苑の公募を行った結果、2団体から応募があり、福祉援護センター指定管理者選考委員会での審査を経て、次のとおり指定管理者を選考しました。

1 施設の概要

指定管理者による管理対象施設は、既設の市立福祉援護センターかがみ田苑とし、この施設の管理運営を行います。

名 称	横須賀市立福祉援護センターかがみ田苑
所 在 地	野比5丁目5番5号
開 設 年 月 日	昭和62年4月1日
敷 地 面 積	22,804.30 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造
床 面 積	2,707.02 m ²
施 設 内 容	1階 かがみ田苑 定員40名(生活介護40名) 2階 軽作業室、相談室、事務室、会議室 3階 機械室、電気室、自家発電室

2 指定管理者が行う業務

- (1) 福祉援護センターの使用の許可に関すること。
- (2) 福祉援護センター条例第3条に規定する事業*の実施に関すること。
- (3) 福祉援護センターの施設及び設備の維持管理に関すること。
- (4) その他市長が定める業務

※「福祉援護センター条例」第3条に規定する事業

- (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号。以下「法」という。)第5条第7項に規定する生活介護
- (2) 法第5条第18項に規定する相談支援
- (3) 法第77条第3項の規定により地域生活支援事業として実施する、日中に知的障害者を通所させ、排せつ、食事等の介護その他の必要な便宜を供与する事業

3 施設の管理運営経費

対象施設では、利用料金制を採用しているため、管理運営に係る経費は、利用料金収入と指定管理料によって賄うことを基本としています。

指定管理料は、市があらかじめ定めた上限額の範囲内で申請団体が提案しました。

4 公募から選考までの事務手続

指定管理者を指定しようとするときは、「福祉援護センター条例」第6条において公募により行うこととなっていますので、次のように事務手続を進めました。

選考委員会設置	令和6年4月1日
公募の周知	令和6年5月27日付 横須賀市公告第96号 令和6年6月1日発行「広報よこすか」に掲載 令和6年6月7日から「横須賀市ホームページ」に掲載
募集要項配布	令和6年6月7日～7月22日
説明会実施	令和6年6月21日 参加団体数1団体 当該施設現地において、申請書類、業務及び建物の仕様等について説明を行いました。
申請受付	令和6年7月16日～7月22日 期間中の申請 2団体
選考委員会開催	令和6年5月17日（第1回 募集要項等の内容決定） 令和6年9月30日（第2回 公開プレゼンテーション実施） 令和6年10月11日（第3回 選考団体の決定）

5 申請団体

申請のあった2団体の概要については次のとおりです。

No.	1	2
団体名	社会福祉法人横須賀市社会福祉事業団	社会福祉法人海風会
所在地	横須賀市本町2丁目1番地	横須賀市馬堀町2丁目17番33号
団体の形態	社会福祉法人	社会福祉法人
代表者	理事長 竹内 英樹	理事長 馬淵 圭包
資産の総額	348,982千円	2,000,805千円
従業員数	105人	180人
団体の設立年月	昭和61年10月	昭和43年11月
業種 (主な業務内容)	第2種社会福祉事業（障害福祉サービス事業、相談支援事業、地域活動支援センター、老人福祉	第1種社会福祉事業（障害者支援施設） 第2種社会福祉事業（障害福祉

同種又は類似施設の管理運営実績	センター) 同種施設の実績あり (現指定管理者)	サービス事業、相談支援事業、移動支援事業、障害児通所支援事業、生活困窮者に対する相談支援事業) 類似施設の実績あり
-----------------	------------------------------------	--

6 指定管理者の選考

(1) 選考方法

申請団体の審査選考にあたっては、外部委員3名及び内部委員2名の次の5名からなる選考委員会を設置し、選考委員が各申請団体の提出書類及び公開プレゼンテーション結果に基づいて審査を実施しました。

申請団体ごとに評価を行い、基礎項目評価点及び各選考委員の評価点を合計し、最も評価点の高い団体を指定管理者として選考しました。

区分	氏名	役職・所属
委員長	縄岡 好晴	明星大学人文学部福祉実践学科准教授
委員	三浦 まさみ	福祉援護センター保護者会副会長
委員	大津 彰子	神奈川県立武山支援学校副校長
委員	八橋 貴樹	福祉こども部障害福祉課長
委員	青木 則幸	福祉こども部福祉施設課長

(2) 評価基準及び配点

審査にあたっては、「福祉援護センター条例」第8条に定める基準*をもとに、次の評価項目及びその配点を設定し評価を行いました。

評価項目	配点
基礎項目評価	150点
提案評価	950点 (190点×5名)
(1) 法令遵守	50点 (10点×5名)
(2) 施設管理	50点 (10点×5名)
(3) 利用者への配慮	50点 (10点×5名)
(4) リスクへの対応	50点 (10点×5名)
(5) 障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	50点 (10点×5名)
(6) 地域貢献	50点 (10点×5名)

(7) 人員体制	50点 (10点×5名)
(8) 受入体制及び運営体制	100点 (20点×5名)
(9) 専門的な支援及びアセスメント	100点 (20点×5名)
(10) 外部研修の受講及び外部コンサルティング等の実施状況	100点 (20点×5名)
(11) 送迎などの利用者サービス向上	100点 (20点×5名)
(12) 市立の施設として期待される事業	100点 (20点×5名)
(13) 指定管理料	100点 (20点×5名)
合計	1,100点

合計 1,100点 (150点+190点×選考委員5名)

※「福祉援護センター条例」第8条（指定管理者の指定）の基準

- (1) 利用者の平等な利用が確保されること。
- (2) 事業計画書の内容がセンターの適切な維持及び管理を行うとともに、運営の効率化が図られるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理及び業務を安定して行う物的能力及び人的能力を有していること。

7 選考団体

横須賀市馬堀町2丁目17番33号
 社会福祉法人海風会
 理事長 馬淵 圭包

8 選考理由

基礎項目評価点と各選考委員の評価点を合計した結果、申請2団体の中で評価点が最も高かったため、選考しました。

なお、選考委員会による各申請団体の評価の結果概要は「指定管理者選考結果内訳」とおりです。

指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

8 債務負担行為（収支計画）

債務負担行為額	420,160千円
---------	-----------

(参考) 収支計画

収 入

(単位：千円)

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
指定管理料	78,506	81,170	83,931	86,793	89,760	420,160
利用料金収入	165,537	165,537	165,537	165,537	165,537	827,685
その他収入	2,520	2,520	2,520	2,520	2,520	12,600
計	246,563	249,227	251,988	254,850	257,817	1,260,445

支 出

(単位：千円)

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
人件費	172,510	178,205	183,900	189,595	195,290	919,500
事務費	30,490	31,290	33,440	36,040	39,290	170,550
委託費	6,044	5,744	5,744	5,744	5,744	29,020
その他経費	37,519	33,988	28,904	23,471	17,493	141,375
計	246,563	249,227	251,988	254,850	257,817	1,260,445

指定管理者選考結果内訳（福祉援護センター）

1 結果概要（得点/満点（得点率））

順位	1	2
団 体 名	社会福祉法人海風会	社会福祉法人横須賀市社会福祉事業団
基礎項目評価	135/150 (90.0%)	125/150 (83.3%)
提 案 評 価	820/950 (86.3%)	785/950 (82.6%)
合 計	955/1,100 (86.8%)	910/1,100 (82.7%)

2 評価内訳

【1位】社会福祉法人海風会

指定管理料総額 420,160 千円

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	135/150 (90.0%)	
提案評価	820/950 (86.3%)	
(1) 法令遵守	50/50 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な法令遵守会議の開催や、管理職等から構成される会議での周知徹底のほか、個人情報保護や情報公開にも配慮があり、法令遵守に対応できると考える。 各種規程や規則の整備、定期的な会議、ケース会議記録のパスワード設定などにより、法令遵守と個人情報保護が管理できる。
(2) 施設管理	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 60年以上にわたり知的障害児者施設を管理運営してきた実績から、仕様書に基づく施設管理や課題への対応ができると考える。 複数の同種施設を運営し、当該施設の管理に必要な十分なノウハウと実績を有している。
(3) 利用者への配慮	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> トラブルや苦情は苦情解決責任者や第三者委員会に報告し、速やかに解決するとされているが、より具体的な提案があると良い。 プレゼンテーションからは個別性に基づいた対応が非常に評価できる。
(4) リスクへの対応	40/50 (80.0%)	<ul style="list-style-type: none"> インシデント報告を活用し、支援者の動きや利用者特性を分析・共有するほか、業務改善や環境調整による再発防止に努める提案は、不測の状態への対応策が講じられると思われる。 各種マニュアルや避難・再発防止計画が整備され、研修や面談を通じた周知と迅速な事故対応がとても良い。

(5) 障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	40/50 (80.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職の増加とワークライフバランスはとても良い。ハラスメントに関する具体的な規定が示されるとさらに良い。 ・法人として諸規程を規定し、必要な事項については対応していくと思われる。
(6) 地域貢献	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元人材の積極的な雇用や市内中小企業への発注に加え、関係協議会の各施設のほか、他の各事業所等とも連携し、課題解決に努める提案であり、法人の強みを生かした地域貢献も期待される。 ・地元人材の雇用や市内事業者からの積極的な物品購入は良い。連携では、受入れの難しい障害者のセーフティネットとしての役割を果たす点は、とても良い。
(7) 人員体制	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門員として強度行動障害心理士等や専門チームなどの支援者の配置について評価できる。また法人全体で強みを生かした人事交流や人材育成、人員体制も期待される。 ・あり方懇話会の提言書に沿った人員体制の検討が重要なポイントであり、地域生活支援拠点事業等や強度行動障害研修の国の中核的人材、さらに令和9年度に開始する広域的人材といった将来的ビジョンを含めた人材育成の方向性が示されていることが評価できる。
(8) 受入体制及び運営体制	90/100 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから成人まで一貫した活動方針は、現在、かがみ田苑が抱えている課題を解消できると思いととも評価できる。 ・プレゼンテーションでは、セーフティネットとして地域のニーズをどのように拾うかが具体的に示されていた。強度行動障害への対応はわかりやすかった。
(9) 専門的な支援及びアセスメント	90/100 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家チームによる個別支援は良い考えであり、ICF(国際生活機能分類)モデルを活用した支援を積極的に行ってほしい。 ・あり方懇話会の提言を非常に意識した意見だが、ICFの視点がわかりやすく、提言書の内容に合致していると評価する。ICFモデルは抽象度が高くなる傾向があるため、今後どのように具体的なチーム体制を組み、地域移行を実践するのか期待したい。
(10) 外部研修の受講及び外部コンサルティング等の実施状況	90/100 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に医療的ケアの研修など、外部研修をぜひ実施してほしい。 ・プレゼンテーションでは、外部研修とコンサルティングの具体的な実施方法が示されていた。事例報告会等の企画も、外部コンサルの内容を踏まえて組織内の人材育成につなげることや、振り返りを反映して、次年度以降の具体的な方向性を示している点が非常に評価できる。

(11) 送迎などの利用者サービス向上	80/100 (80.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援の利用が難しい時間帯があるため、送迎サービスの必要性に触れ、運転手の確保や増員に努める点が、利用者や家族にとってとても良い。 ・法人は他の施設で十分な送迎実績があり、必要な車両の確保や外部委託型送迎の検討を進めていて、送迎に力を入れる姿勢が感じられた。
(12) 市立の施設として期待される事業	100/100 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の民間事業者によるコンサルテーション事業の実施は良い発想だが、効果が未知数のため、期待を込めて評価したい。 ・中核的な人材を育成し、ノウハウを地域に還元することが重要だが、他施設へのコンサルテーションが市立施設として期待される事業内容と合致する。事例報告会で人材育成の方向性等が示されているが、実践的なトレーニングセミナーを実施し、地域の事業所に提供できる研修形態を期待したい。
(13) 指定管理料	60/100 (60.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・インカムを導入して支援中に音声で記録を行い、入力事務を削減するなど、職員の働き方の工夫や、送迎バスの購入など指定管理料の具体的な使途が示され期待できる。 ・指定管理料の削減は提案されていないが、専門家チームへの業務委託など、利用者のサービス向上に特徴ある経費が多く計上されている点は考慮して評価したい。
合計	955/1,100 (86.8%)	

【2位】社会福祉法人横須賀市社会福祉事業団

指定管理料総額 418,435 千円

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	125/150 (83.3%)	
提案評価	785/950 (82.6%)	
(1) 法令遵守	50/50 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制が整備され、コンプライアンス総括管理者の設置、研修の徹底、個人情報保護措置、情報公開制度が確保されている。 ・内部統制の基本方針が設定され、個人情報保護に関する研修も行われ、法令遵守ができると考える。
(2) 施設管理	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実績と他の事業の実施状況からも施設を熟知していて、施設課題に適切に対応できると思われる。 ・現指定管理者として長年にわたり当該施設の管理を行い、十分なノウハウと実績を有している。
(3) 利用者への配慮	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルやクレーム対応がマニュアル化され、スタッフ会議等も設けられていて、オンブズマン制度も評価できる。 ・非常に組織化されていて、わかりやすい体制という印象があり、利用者に対する適切な対応が期待できる。
(4) リスクへの対応	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害防止のための職員研修の新規企画は、事例研究や支援者の技術再確認を通じて、安全な職場環境と質の高い支援を継続することを目的としていて、評価に値する。 ・外部マニュアルや業務継続計画、リスクマネジメント委員会があり、事故の未然・再発防止となる。また、労働災害防止のための新規研修も評価できる。
(5) 障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用への配慮や障害者就労施設からの積極的な物品購入ほか、ワークライフバランスについてもとても良い。 ・法律に基づいて規程を整理し、男女共同参画やハラスメントに関する諸規程も整備されている。
(6) 地域貢献	50/50 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元人材の雇用率が86.7%と高く、市内事業所の積極的な活用、相談支援における連携は利用者のサービス向上ともつながり、講演会や音楽会などのイベント等も具体的な地域貢献が見込まれる。 ・地元人材の雇用や地元事業者からの物品購入が地域貢献につながり、さらに様々な協議会への参加や事業所との連携の拡充も評価できる。

(7) 人員体制	45/50 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が難しい利用者に対応するため、中核的人材として地域生活移行推進担当職員を5人配置し、地域移行の推進とスーパーバイズの役割を果たす取り組みが評価できる。 ・事業所内での体制について、地域移行推進担当職員の役割や人材育成を具体的に示して、評価に値する。
(8) 受入体制及び運営体制	80/100 (80.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・通過型施設として将来への不安はあるものの、受入体制と支援内容は申し分ない。 ・過去の実績は評価できる。受入れが困難な方への具体的な対応、情報や育成について示されていると良かった。
(9) 専門的な支援及びアセスメント	70/100 (70.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・通過型施設としての充実した支援と、現状診断会議などの細やかな対応が実施されている。 ・現状の取組みのプレゼンテーションはわかりやすかった。今後の具体的な方向性の説明がやや不十分であると思った。
(10) 外部研修の受講及び外部コンサルティング等の実施状況	70/100 (70.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や他事業者との連携はとても良いと思った。専門家を招いた講演会は、積極的に実施してほしいと思う。 ・強度行動障害の継続研修や現時点で行うべきことを具体的に実施しようとする姿勢は共感でき、評価できる。
(11) 送迎などの利用者サービス向上	80/100 (80.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別送迎サービスの利用者は現在2名だが、今後は条件緩和して拡充することで、多くの利用者に対応することや、入浴サービスの提供という新たな取り組みも良い。 ・個別対応の送迎の充実や、専任運転手の確保は、送迎に力を入れる姿勢が感じられる。
(12) 市立の施設として期待される事業	90/100 (90.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難訓練や地域移行に向けた宿泊体験の事業実施への期待は大きく、意気込みを感じる。 ・宿泊事業の具体的な方向性が示されていて、災害時の対応については非常に評価できる。
(13) 指定管理料	70/100 (70.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営費の削減策により、指定管理料を引き下げている点は良い。 ・指定管理期間の後半に上限額を下回る提案がされていて、指定管理料削減への意識が感じられる。
合計	910/1,100 (82.7%)	